

Kwang Hee JUN

(全 廣熙)

(Professor of Sociology, Chungnam National University)

(忠南国立大学社会学科教授)

15:00-15:20 休憩時間 Break

15:20-16:00 「台湾における少子化と少子化対策」

伊藤正一

(関西学院大学経済学部教授)

16:00-16:40 「シンガポールと香港における少子化と少子化対策」

佐々井 司

16:40-17:20 「日本における地方自治体の少子化」

山内昌和・西岡八郎

17:20-18:00 全体討論

外国人研究協力者で韓国における出生力研究の第一人者である全教授の韓国からの特別参加を得て、韓国における少子化と地方自治体の少子化対策に関する講演をしていただいたため、研究所内外から多数の参加があり、活発な議論が行われた。なお、同教授の講演の基になった調査報告書はプロジェクトの最終報告書（平成14年度～16年度総合研究報告書）に掲載され、“The Transition to Sub-Replacement Fertility in South Korea: Implications and Prospects for Population Policy”と題された論文は当研究所のウェブジャーナル *Japanese Journal of Population*, Vol.3, No.1, 6/2005に掲載される予定で、分担研究者の論文の一部は本誌第61巻第2号、6/2005にプロジェクト特集として掲載されることになっているので、ご興味のある方は参照されたい。（小島 宏記）

日本地理学会2004年度春季学術大会

日本地理学会2005年度春季学術大会が、2004年3月27日～30日、青山学院大学青山キャンパス（東京都渋谷区）において開催された。口頭177件、ポスター65件の計232件の一般発表、53件の発表を含む5つのシンポジウムが行われた。人口関連分野についても多数の報告がなされた。以下、主なものについて発表題目を紹介する。

「山形県庄内地域出身者の還流移動」

江崎雄治（専修大）、山口泰史（荘銀総研）、松山薫（東北公益文科大）

「山形県庄内地域における学卒Uターン者の就職プロセス」

山口泰史（荘銀総研）、江崎雄治（専修大）、松山薫（東北公益文科大）

「地方圏実業高校卒業生のライフコース」 神谷浩夫（金沢大）、中澤高志（学振特別研究員）

「ライフコースから見た韓国女性の就職移動」 李賢郁（東京大・院）

「マラリアに関連する赤血球遺伝子の頻度と住民のマラリア観の関係」

小林茂（大阪大）、濱野真二郎（九州大）、白川卓（神戸大）、鈴木朗（九州大・院）

「日本における HIV 感染症の時空間的モデリング」

中谷友樹（立命館大学）、中瀬克己（岡山市保健所）、小坂健・岡部信彦（国立感染症研）

「2030年における日本の市区町村別将来推計人口」

小池司朗・山内昌和（国立社会保障・人口問題研究所）

（山内昌和記）